



きれいに飾りつけられたまんどう

川額・森下で秋恒例の諏訪まつり

毎秋恒例の諏訪祭りが川額八幡宮、森下大森神社でそれぞれ開催されました。川額地区では9月28・29日に開催。まんだうの武者人形は、川額上が黒田官兵



◆ 踊りを楽しむ参加者たち



衛、川額下が伊達政宗でした。2日目の午後9時30分すぎになると、7回めぐりが開始。中学生が威勢よくまんだうをぶつけあいました。

森下地区では9月30日・10月3日に開催。武者人形は森下上が竹中半兵衛、森下中が毛利元就、森下下が真田幸村でしたが、会場は子供からお年寄りまで数百人の来場者でいっぱい。大盛況のお祭りになりました。多くの見物客の見守る中、激しい7回めぐりを披露しました。

高砂大学生が小学校に体験入学

高砂大学では9月28日、南小学校に1日体験入学をしました。

高砂大学は60歳以上の高齢者のための生涯学習プログラムで、この日は25人の高砂大学生が体験入学しました。

午前中は、校長先生の講話を聞いた後に、小学校内を見学。児童が授業を受けている様子を楽しそうに見学していました。

昼食は食堂で児童と一緒においしい給食を味わいました。

午後になると、高砂大学生たちが見学



輪投げを指導



楽しい給食の時間

する側から教える側に。普段から練習している輪投げやグラウンドゴルフを児童たちに教えながらスポーツで交流。楽しい時間を過ごしました。



何を勉強しているのかな

家族経営協定締結者の集いを開催

家族経営協定締結者の集いが9月19日、村公民館多目的ホールで行われました。

はじめに締結者を代表して、星野幸子さんが協定締結までについてを体験発表。続いて、県農業経営士協議会長の吉野藤彦さんが「今、農業がもしいろいろ農業と国際交流」と題して講演を行いました。

講演の後は、手打ちソバ体験教室が行われ、参加した協定締結者たちがソバ打ちに挑戦。自分で打ったソバを食べながら意見交換を行いました。



体験発表をする星野さん

商工会女性部が奉仕活動



「元気の家」を清掃

村商工会女性部（真下朝江部長）では9月2日、奉仕活動の一環として、総合グラウンド『元気の家』の清掃・周辺のゴミ拾いを実施しました。

部員20人が作業を開始すると、辺りはあっという間にキレイに。およそ1時間半の作業が終わると、『元気の家』はキレイな姿を取りました。



地鎮祭の様子

80歳以上に敬老祝い金

村と村社会福祉協議会では村内の80歳以上のお年寄りに敬老祝金を贈りました。

91歳以上のお年寄りには、加藤村長・真下助役・民生委員の代表らが訪問。加藤村長は「これからも健康に気を付けて長生きしてください」と声をかけながら、祝金を手渡していました。



これからも長生きしてください

こんにやく料理を紹介



収録の様子

TV番組「食いしん坊パンザイ」の収録が9月28日、村特産物加工さくら工房で行われました。

さくら工房の組合員により、村の特産物であるこんにやく料理が紹介されますのでぜひご覧ください。番組の放映予定日は11月19日です。

福祉パレードが役場を訪問

利根・沼田地区福祉パレードが行われ、9月12日に心身障害者の施設関係者ら約30人が役場を訪れました。

パレードでは、たけのこ学園の小林東さんが「これからも私たちを応援してください」メッセージを朗読。くりのみ学園の山田賢典さんが加藤村長に花束を贈呈しました。



メッセージを朗読する小林さん

佐藤運送が新流通センター地鎮祭

佐藤運送株式会社（本社伊勢崎市、佐藤治男社長）が9月15日、昭和閑屋工業団地で同社新流通センター建設工事の地鎮祭を行いました。

地鎮祭後のなおらいで佐藤社長は「素晴らしい建物が出来ることを願っています」とあいさつ。加藤村長が「今回の進出は後継者の残れる村づくりの大きな力になります。心から喜んでいきます」とお

祝いを述べました。

同社は団地内に約2万1千平方メートルの用地を取得しており、8千6百平方メートルの倉庫を建設予定。平成19年春には操業を予定しています。

これで今年度の同工業団地への企業の進出は3社目。平成11年に進出しているキヤノン電子を含めて、4社目の進出になります。

大河原区が道路愛護で県表彰

平成18年度優良道路愛護団体等表彰式が、群馬県庁で行われました。

この賞は、道路愛護運動などで活躍した団体や個人に贈られているもの。本村の大河原道路愛護会（石井均区長）が道路愛護団体優良の部で表彰されました。